

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	心豊かで地域力を育む生涯学習社会の形成		課(室)名	生涯学習センター
	施策	生涯学習の推進		電話番号	087-811-6222
	基本事業	学習機会の充実		事業実施主体	市
	事務事業	高齢者教育推進事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	高齢者の生きがいがいづくりや社会活動への参画を促進するため、地域コミュニティセンター等において高齢者教室を開設することにより、多種多様な学習の機会や場を提供し、生涯学習の充実を図る。				
30年度概要	高齢者教室の開設 ・地域コミュニティ 51教室（委託）（牟礼と大町は2館で1教室） ・修了証書用紙代				
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）		


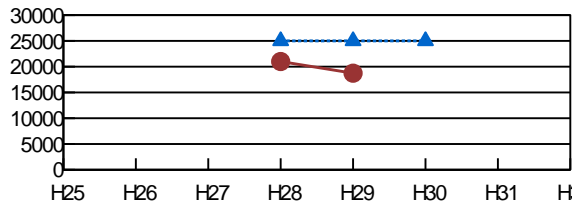
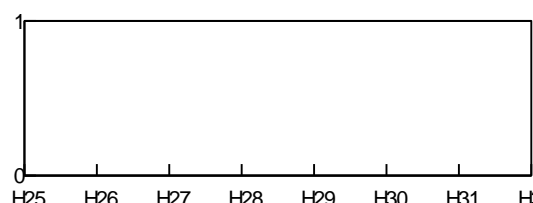
【事業の目的】

対象（何を）	市内の高齢者（概ね65歳以上）
意図（どのような状態にしたいか）	高齢者の生きがいがいづくりや社会活動への参画、情報交換・相互交流を促進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
開設教室数	教室		52	52	52	52

【事業の成果】

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
受講延べ人数	人	目標値		25,000	25,000	25,000	25,000
		実績値		20,998	18,735		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 開設教室数については目標を達成できているが、受講延べ人数については目標を達成できていない。受講者のニーズを的確にとらえ、講座内容の見直しの指導・助言を行うと併に周知に努め、受講者の増加を図る。 		(目標達成度)					(達成度) 74.9% 26点
成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）		(目標達成度)					(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	4,467	4,474	3,814	3,848
（事業費）	[円]	2,164	2,119	1,538	1,572
（職員人件費）	[円]	2,303	2,355	2,276	2,276

【評価】

評価ランク（A～D）	<b>B</b>	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	<b>継続</b>
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
高齢者の生きがいがいづくりや社会活動への参画を促進する機会の提供は目標を達成しているが、受講者数は目標を達成できなかった。今後は市民のニーズを的確に把握し、講座の内容を適切に見直す必要がある。また、費用の縮減を行い、費用対効果の向上を行った。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
高齢者の生きがいがいづくりや参加者同士のネットワークづくりを更に促進する必要がある。			

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	心豊かで地域力を育む生涯学習社会の形成		課(室)名	生涯学習センター
	施策	生涯学習の推進		電話番号	087-811-6222
	基本事業	学習機会の充実		事業実施主体	市
	事務事業	生涯学習推進事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	市民の多様な学習ニーズに対応するため、少子高齢化や情報化など現代的課題に関する講座や大学等と連携した専門講座、他団体と連携した講座などを開催することにより、市民の生涯学習の振興を図る。				
	30年度概要	(1)生涯学習カレッジ 少子高齢化、情報化などの現代的課題を取り上げる講座や大学等と連携した専門的な講座 (2)生涯学習推進事業 まなびCAN・CSR教室や市民の関心の高い教養・趣味の講座、イベントなど			
重点取組事業		市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）	

【事業の目的】

対象（何を）	生涯学習に関心のある市民等
意図（どのような状態にしたいか）	生涯学習センターのより効果的な活用と学習機会の提供を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
講座開催回数	回		335	359	335	335

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	受講者の満足度	%	目標値		95	95	95	97
			実績値		95	95		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 市民の幅広い学習ニーズに対応した講座の企画及び開催が実施できた。また、アンケートにより受講者の満足度もほぼ達成できているが、講座内容の工夫や改善を求める声もあるので、さらなる充実を図っていく必要がある。 (目標達成度)							(達成度) 100.0% 35点
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	12,975	13,467	13,251	14,727
（事業費）	[円]	2,227	2,476	2,629	4,105
（職員人件費）	[円]	10,748	10,991	10,622	10,622

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

講座開催回数については概ね目標値のとおり達成できたが、定員に満たない講座に関しては、内容の見直しを行い、市民ニーズに合致した講座の実施に努める必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

市民の多様な生涯学習への要望に応える学習ニーズを的確に把握するとともに、既存講座の見直しや新しい講座の企画・開発に努め、講座内容の工夫や改善を進めることにより、講座の充実を図る。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	心豊かで地域力を育む生涯学習社会の形成		課(室)名	生涯学習センター
	施策	生涯学習の推進		電話番号	087-811-6222
	基本事業	学習機会の充実		事業実施主体	市
	事務事業	市民参画促進事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	市民との協働のまちづくりの視点から、市内で活動する団体等に生涯学習の成果を発表する機会を提供するため、センター遊友塾等を実施し、市民参画の充実を図る。
-------	---

30年度概要	(1)生涯学習コーディネーター養成講座 (2)指導者のためのセミナー
--------	---------------------------------------

重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）
--------	----------	---------	-------------------


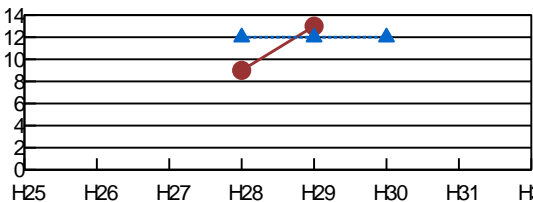
【事業の目的】

対象（何を）	生涯学習に関心のある市民等
意図（どのような状態にしたいか）	市民の行政への参画意識の醸成を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
講座開催回数	回		40	52	40	40

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
成果指標	自主企画講座応募団体数	団体	目標値		12	12	12	12
			実績値		9	13		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 市民団体、地元大学等との連携により目標を達成できた。さらに市民ニーズを的確に把握し、新たな連携に取り組み、内容の充実を図っていく。  （目標達成度）			 （達成度） 108.3% 35点				
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							（達成度）

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[円]	6,762	6,966	6,570	6,808
（事業費）	[円]	620	685	500	738
（職員人件費）	[円]	6,142	6,281	6,070	6,070

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

遊友塾及び市民参画促進委託事業において補助金及び委託料の支出や選考方法の見直しを行い、平成30年度より学習成果発表の場事業に統合した。市民が、より生涯学習に参画できるよう、学習成果を発表できる場を提供し、生涯学習の推進に努める。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

生涯学習における市民参画を促進するため、学習成果発表の場事業への応募を促すとともに、全コミュニティセンターの生涯学習推進員に対する研修会の内容の充実を図る。

平成30年度(29年度決算分)高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	心豊かで未来を築く人を育むまち	評価担当	局名	教育局
	政策	心豊かで地域力を育む生涯学習社会の形成		課(室)名	生涯学習センター
	施策	生涯学習の推進		電話番号	087-811-6222
	基本事業	学習機会の充実		事業実施主体	市
	事務事業	コミュニティセンター講座事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	地域住民の多様化した学習要求に応えるため、地域コミュニティセンターにおいて各種講座を開催することにより、学習の機会や場を提供し、生涯学習の充実を図る。				
	30年度概要	(1) 趣味・実技講座 (2) 教養講座 (3) 子どもの居場所づくりに対応した講座 (4) 生涯学習リーダー養成講座 (5) ブロック別現代的課題講座			
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業(法律による実施義務無)		


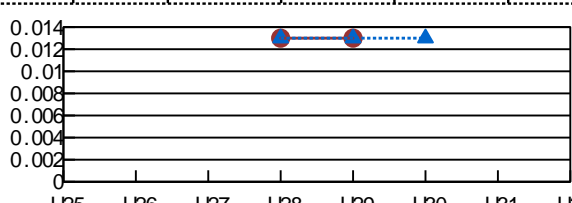
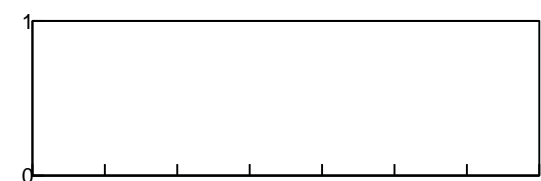
【事業の目的】

対象(何を)	生涯学習に関心のある市民等
意図(どのような状態にしたいか)	地域のニーズに応じた学習機会を提供することにより、地域住民の生涯学習の推進を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
講座開催回数	回		5,426	5,609	4,000	4,000

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
人口1人当たり受講回数	回	目標値		0.013	0.013	0.013	0.013
		実績値		0.013	0.013		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 人口一人当たりの受講回数については達成できたが、講座によっては定員に満たない講座もあるので、個々の講座について問題点を洗い出し、さらなる内容の充実を図る必要がある。 		(目標達成度)					(達成度) 100.0% 35点
成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
		目標値					
		実績値					
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[千円]	28,278	28,544	28,362	26,152
(事業費)	[千円]	21,369	21,478	21,534	19,324
(職員人件費)	[千円]	6,909	7,066	6,828	6,828

【評価】

評価ランク(A~D)	A	今後の方向性(拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

市がコミュニティ協議会に委託し、公金を使って運営されることや民間との差別化・公共性の観点から、現在の必須科目としている「人権」等の必須科目が重複している場合は他の講座との合同開催を事情に応じて広く認める。また、1コミュニティセンターあたり年間83回を必須としていた講座回数を平成30年度からは講座実施回数を年間52回を必須とし、さらに希望するコミュニティセンターについては、年間20回まで回数を加算できる希望加算方式とするなど、コミュニティセンターとの協議を行った。平成30年度からは協議した内容で事業内容の見直しを行う。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

生涯学習センターで実施する研修会の開催回数や内容を精査することにより、地域で生涯学習活動を実践する生涯学習推進員の人材育成を図るとともに、コミュニティセンターで実施する講座がより実践的・効果的なものとなるよう努める。また、学校教育課所管の「土曜学習研究指定校事業」の終了に伴い、地域の小中学生向けの「まなびの場」づくりに取り組む。今後、地域の実情に即した講座の在り方を検討する。